

---

## 下鳥富次郎(しもとり とみじろう) 1745 - 1814

---

上江用水を三和へ掘り進め、三和の農業の礎を築いた。

### 上江用水(うわえようすい)を三和へ掘り継ぐ

江戸時代、現在の上越市清里区まで完成していた上江用水を三和区内まで掘り進めることに尽力しました。

上江用水の延長工事は富次郎の祖父、源助の時代からの悲願でしたが、用水関係者等の強い反対にあい実現しませんでした。その後、たびかさなる水不足に人々は困窮し、惨状を見かねた富次郎は、再び上江用水の延長工事を計画しました。川浦代官所、江戸の勘定奉行所へ願い出るなどしました。しかし、実現には困難を極め、辛苦の末、上江用水組合への仮加入が認められ工事に着手し、安永6年(1777年)に完成しました。源助が計画を立ててから90年、親子三代の寝食を忘れての努力が今日の三和区の農業の基礎を築いたといっても過言ではありません。

川浦町内会にある「北辰神社」は、富次郎を祭る神社で、毎年7月17日に祭典が行われています。